

## 特別展「戊辰戦争 150 年」結果報告

1. 名称：特別展「戊辰戦争 150 年」
2. 主催：仙台市博物館、新潟県立歴史博物館、福島県立博物館
3. 共催：NHK 仙台放送局、河北新報社
4. 後援：毎日新聞仙台支局、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、  
日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、TBC 東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、  
KHB 東日本放送、エフエム仙台、ラジオ 3FM76.2
5. 特別協力：日本通運株式会社
6. 会期：仙台市博物館 平成 30 年 10 月 26 日（金）～12 月 9 日（日）（開催日数 39 日）  
（参考）新潟県立歴史博物館 平成 30 年 7 月 14 日（土）～ 8 月 26 日（日）  
福島県立博物館 平成 30 年 9 月 1 日（土）～10 月 14 日（日）
7. 会場：仙台市博物館（テーマ展示室 I・II、コレクション展示室 II、企画展示室）
8. 観覧料：一般・大学生 1,000 円、高校生 500 円、小・中学生 400 円（10 名以上の団体各 100 円引）
9. 展示構成：序章 開国 第 1 章 政局 第 2 章 開戦 第 3 章 盟約  
第 4 章 展開 第 5 章 降伏 終章 再起
10. 関連イベント
  - (1) 記念講演会（申込制・聴講無料）  
日時：10 月 27 日（土）13:30～15:00 会場：博物館ホール  
参加 300 人（ホール 175 人、ロビー125 人）  
講師：栗原伸一郎氏（東北大学大学院文学研究科 学術研究員）  
演題：「奥羽列藩同盟をつくった仙台藩士」
  - (2) しろ・まち講座（申込制・聴講無料）  
日時：11 月 17 日（土）13:00～16:00 会場：博物館ホール  
参加 348 人（ホール 168 人、ロビー180 人）  
講師：田邊幹氏（新潟県立歴史博物館主任研究員）  
阿部綾子氏（福島県立博物館主任学芸員）、水野沙織（当館学芸員）  
演題：「三館共同企画「戊辰戦争 150 年」の見どころを語る」
  - (3) 仙台市博物館友の会共催 記念講演会（申込制・聴講無料）  
日時：12 月 1 日（土）13:30～15:00 会場：博物館ホール  
参加 304 人（ホール 168 人、ロビー136 人）  
講師：熊谷達也氏（作家）演題：「小説『我は景祐』執筆にあたって～仙台藩士と戊辰戦争」
  - (4) ミュージアムセミナー 10 月 27 日（土）10:00～11:30 博物館講習室・展示室 参加 22 人
  - (5) 友の会広報セミナー 10 月 29 日（月）13:30～15:00 博物館ホール・展示室 参加 155 人
  - (6) 各種団体・学校等への展示解説 18 件（学校 3 件、その他団体 15 件） 参加 801 人
  - (7) プレイミュージアムイベント「袖章・小旗をつくろう」会期中開催 参加 1967 人
  - (8) 着用体験イベント「新選組隊士になろう」  
日時：会期中の土日祝日 10:00～11:30、14:00～15:30 会場：企画展示室出口  
参加 400 人（着用した人）
  - (9) まちなか博物館講座（東北工業大学との連携イベント）  
日時：11 月 10 日（土）13:30～15:00 会場：東北工業大学一番町ロビー 2 階ホール

参加：172人（会場119人、中継53人）

講師：中武敏彦（当館職員） 演題：「戊辰戦争150年－仙台藩の選択」

1.1. 観覧者数：29,137人（1日平均747人）

1.2. 展覧会の様子や観覧者の感想

平日・休日とも大勢のお客様が来館し、時間をかけて熱心にご覧になる方も多かった。なかには新潟・福島の展示を見て来館される方もおり、他館との展示構成の違いを楽しんでいた。NHKとの共催だけでなく、マスコミ・来館者とも展覧会への注目が高く、予想した以上の来館者数・講演会参加者数につながった。また、アンケートでも9割以上が満足と回答し、自由記述をみても今回のテーマである「仙台藩はどう戦ったのか」を伝えることができた展覧会であったと考える。

- ・ 詳細な内容に心打たれました。戊辰戦争期における仙台藩の様子がよくわかりました。
- ・ 仙台独自の資料も多く、東北諸藩の動きがよくわかった。
- ・ 2回目ですが見きれなかった。展示期間を長くして欲しい。
- ・ 展示資料の現代語訳が欲しかった。
- ・ タイトル・キャプションのみだしが今風でわかりやすいです。面白かった。
- ・ 錦旗や奥羽越列藩同盟旗の展示は迫力があつた。